

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、有害種のシュードシャットネラ・ベルクローサの増殖が認められ、被害が想定される細胞密度を超えた状態が続いていました。本種は魚毒性が非常に強い種類です。また、ヘテロシグマ・アカシオの増殖も認められました。さらにごく少数ながらクロロディニウム・ポリクリコイデスやカレニア・ミキモトイもサンプル中に認められました。引き続き慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
透明度	2.5	2.5	2.5	2.5	2.1
前回透明度	2.9	2.9	3.1	2.9	2.7

プランクトン(cells/ml)

		シュードシャットネラ・ベルクローサ	ヘテロシグマ・アカシオ	クロロディニウム・ポリクリコイデス	カレニア・ミキモトイ
中学校前	0m	2,300	10	10	0
	2m	1,580	220	0	0
	5m	350	90	0	0
目ノクソ	0m	2,380	10	0	10
	2m	1,870	160	0	30
	5m	700	140	0	10
光松	0m	2,330	20	0	0
	2m	2,290	150	0	0
	5m	510	90	0	10
大鹿	0m	2,700	0	0	0
	2m	1,980	70	0	0
	5m	530	40	0	0
水試小割前	0m	2,270	0	0	0
	2m	2,040	50	0	0
	5m	930	50	0	0



- 漁業被害が想定される細胞密度**
- ・シュードシャットネラ・ベルクローサ:
500~1,000cells/ml(魚類のへい死)
 - ・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
 - ・クロロディニウム・ポリクリコイデス
1,000cells/ml(魚類のへい死)
 - ・カレニア・ミキモトイ
500~5,000cells/ml(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>